



金融を、もっと面白く。

第27期

トレーダーズホールディングス通信

2025年4月1日～2026年3月31日

Create the **New** Values

新たな価値を創造し続ける

トレーダーズホールディングス株式会社

証券コード 8704

## 『TOP MESSAGE』

～過去最高の預り資産増加を実現  
さらなる成長に向けた事業基盤を強化～

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2026年3月期は、為替相場のボラティリティが低下し、長期にわたりレンジ相場が続く厳しい市場環境となりました。そのような中でも、営業収益は13,218百万円と過去最高であった前期と同水準を確保し、営業利益は6,161百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,244百万円となりました。また、トレイダーズ証券におけるお客様からの預り資産は前期末比210億円増加し、1,332億円となりました。当期の預り資産増加額は当社過去最高となり、着実な顧客基盤の拡大を実現いたしました。これらの成果は、株主様やFX投資家の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当期は、追い風が少ない相場環境下においても、当社グループの収益基盤の厚みと競争優位性を示す年となりました。第4四半期には預り資産、顧客建玉、有効証拠金の積み上がりを背景に取引が拡大し、過去最高の四半期営業収益を達成いたしました。

株主の皆様への還元につきましては、2023年3月期より導入したDOE（株主資本配当率）を基準とした配当政策のもと、当期の年間配当金は1株当たり40円とし、5期連続の増配を実現いたしました。さらに、2027年3月期よりDOE目安を4%から5%へ引き上げ、年間45円の配当を予定しております。

私たちは、現在、中期経営計画『Traders Group Vision for 2027』の最終年度に向け、預り資産目標を1,500億円へ上方修正し、さらなる成長施策を推進しております。今後も革新的なサービスの提供と持続可能な成長戦略の実行により、企業価値の向上に邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

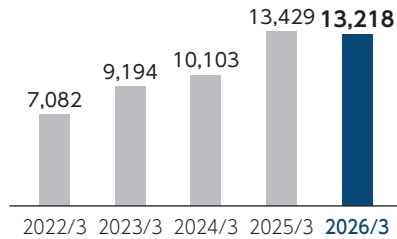
トレイダーズホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社長

金丸貴行

## 決算ハイライト (2022年3月期～2026年3月期)

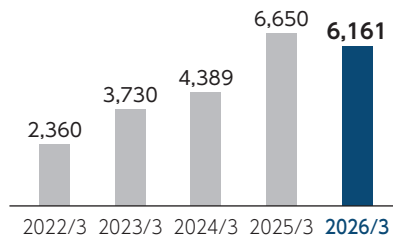
## 営業収益

単位：百万円



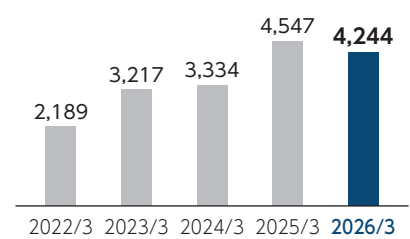
## 経常利益

単位：百万円



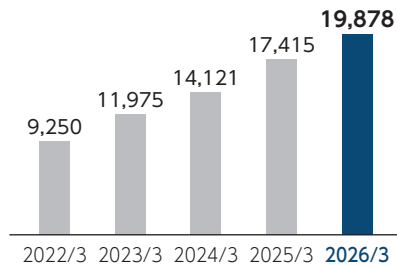
## 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



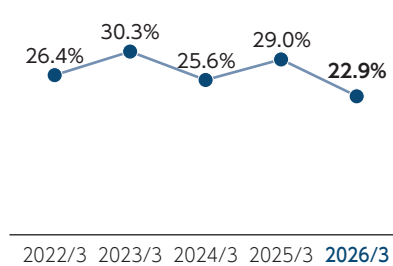
## 純資産

単位：百万円



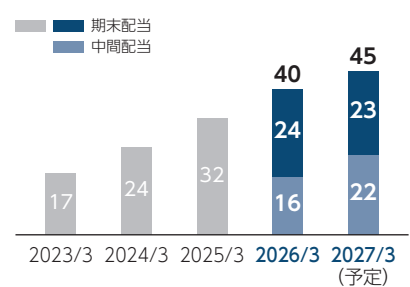
## ROE

単位：%



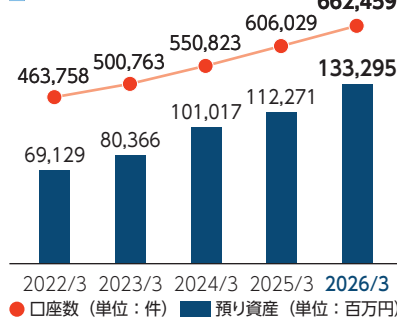
## 1株当たり配当金の推移

単位：円



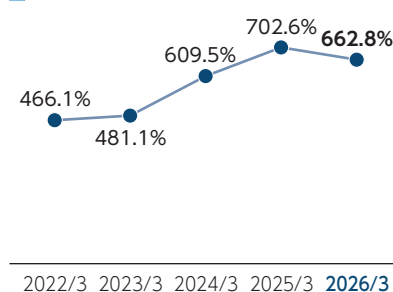
## トレーダーズ証券

## 口座数および預り資産



## 自己資本規制比率

単位：%



自己資本規制比率とは、金融商品取引業者の経営の健全性を測る指標のことで、金融商品取引法においては、例えば140%を下回った場合には金融庁に届出を提出することなどが求められています。2022年3月期には、466.1%でしたが、当期末は662.8%と健全性が增强されておりあります。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第26期	第27期	増減
	2024年4月1日から 2025年3月31日まで	2025年4月1日から 2026年3月31日まで	
営業収益	13,429	13,218	△210
受入手数料	74	68	△5
トレーディング損益	13,210	12,975	△234
金融収益	17	54	37
その他の売上高	127	119	△7
金融費用	40	25	△14
売上原価	89	51	△37
純営業収益	13,299	13,140	△158
販売費及び一般管理費	6,665	6,979	313
取引関係費	2,059	2,173	113
人件費	3,005	2,759	△246
不動産関係費	689	811	122
事務費	65	86	21
減価償却費	372	434	62
租税公課	235	306	71
研究開発費	198	332	134
その他	39	75	169
営業利益	6,634	6,161	△472
営業外収益	28	16	△11
営業外費用	12	17	4
経常利益	6,650	6,161	△489
特別利益	0	2	1
特別損失	7	-	△7
税金等調整前当期純利益	6,643	6,163	△480
法人税、住民税及び事業税	1,977	1,866	△111
法人税等調整額	118	52	△65
法人税等合計	2,096	1,919	△177
当期純利益	4,546	4,243	△303
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△0	△0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	4,547	4,244	△302

第1四半期から第3四半期にかけては低ボラティリティの市場環境が継続したものの、第4四半期にはニューヨーク連銀による「レートチェック」観測や衆議院議員総選挙後の与党大勝などを背景に、市場のボラティリティが高まりました。当社は、これまで一貫して取り組んできた預り資産の積み上げにより、この市場環境の変化を着実に収益機会として捉えることができました。その結果、営業収益は過去最高を記録した前期に迫る高い水準となりました。

その他の売上高は、システム開発・システムコンサルティング事業の外部顧客に対する売上高です。FlеGrowthは当期も 트레이ダーズ証券向けのシステム開発・改修等に注力し、外部売上は減少しました。

預り資産増加を目指し広告宣伝活動は毎期積極化する方針で取引関係費は増加しました。

社外から優秀な人材が集まり、また既存役職員が高いモチベーションをもって長きに勤続する企業であることを目指して、賃上げ(給与・賞与水準の引き上げ)と、その成果である高ROEの両立を追求しています。当期においては2025年3月期に一時的に増加していた株式報酬関連費用が、2026年3月期には平常化したことにより、人件費は減少しました。

次期取引システム並びに顧客管理システムに係る研究開発費が増加しました。

過去最高を記録した前期に迫る高い水準となりました。

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

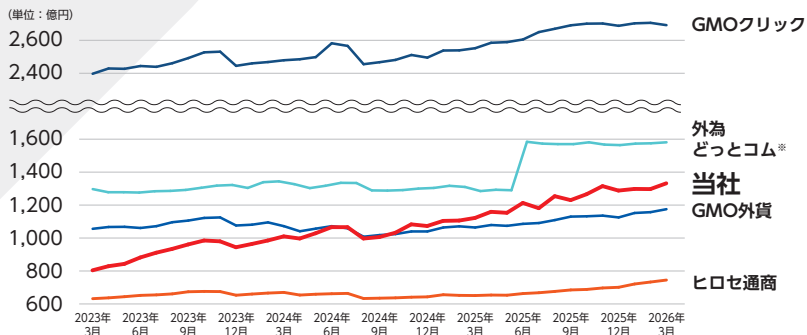
科目	第26期 (2025年3月31日)	第27期 (2026年3月31日)	増減	
資産の部				
流動資産	123,381	163,865	40,484	
現金及び預金	12,121	8,503	△3,617	
預託金	101,921	140,416	38,495	顧客から受け入れた預り金を当社固有の資産と区別して分別保管しております。顧客預り資産が増加となり受入保証金勘定が増加したため預託金勘定も増加しました。
トレーディング商品	80	184	104	
短期差入保証金	8,484	13,918	5,433	当期から導入したスイスフランクロスなど高金利通貨プロダクトの拡充、および顧客建玉数が増加したことに伴い、カバー先金融機関への差入保証金が増加しました。
その他	774	843	68	
貸倒引当金	△0	－	△0	
固定資産	1,667	1,890	223	
有形固定資産	190	192	1	
無形固定資産	825	870	45	FleGrowthにおいてFX取引システムおよび暗号資産CFD取引システムを開発することで増加しました。
投資その他の資産	651	828	176	
資産合計	125,048	165,756	40,707	
負債の部				
流動負債	107,419	145,510	38,091	CVCファンドへの出資で投資有価証券が増加した一方で繰延税金資産が減少したことによりです。
トレーディング商品	998	1,206	207	
預り金	19	21	2	
受入保証金	102,653	141,476	38,822	主に顧客預り資産に対応する勘定科目です。
短期借入金	971	920	△51	
1年内返済予定の長期借入金	88	78	△10	
未払法人税等	1,672	983	△688	当期の有利子負債は前期末残高と比較し73百万円増加いたしました。一方、金融機関7行と総額2,000百万円の当座貸越契約およびコミットメントラインを締結しました。当社の総資産の大半を占め、顧客の取引状況により日々バランスが大きく変化するFX取引に関連する資産・負債に対応するため、金融機関からの資金調達を機動的に実行できる体制を強化しました。
賞与引当金	288	139	△149	
その他	726	685	△41	
固定負債	213	366	153	
長期借入金	67	201	134	
役員退職慰労引当金	53	76	22	
退職給付に係る負債	86	81	△4	
その他	6	6	0	
負債合計	107,633	145,877	38,244	
純資産の部				
株主資本	17,225	19,638	2,413	経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行と株主還元の実をを図ることを目的として自己株式の取得を行いました。
資本金	1,564	1,564	－	
資本剰余金	1,012	1,089	76	
利益剰余金	16,157	19,430	3,272	
自己株式	△1,509	△2,445	△935	
その他の包括利益累計額	63	84	20	役員員向けにストック・オプションの発行を行いました。
為替換算調整勘定	63	84	20	
新株予約権	123	151	28	
非支配株主持分	3	4	1	
純資産合計	17,415	19,878	2,463	純資産は対前期末比で2,463百万円増加し、株主還元を強化しつつも財務安定性がさらに高まりました。
負債・純資産合計	125,048	165,756	40,707	

# 業績およびKPIの推移

## FX業界における預り資産他社比較

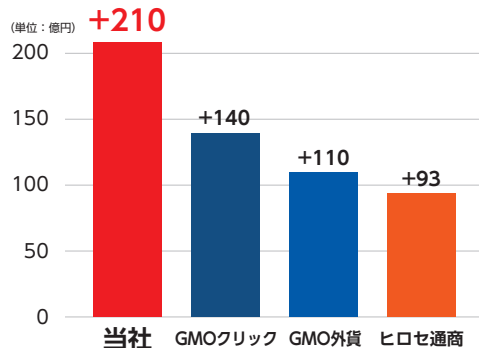
スプレッド・スワップなどスペックの競争が熾烈な中、4月のみんなのFX LIGHTペアのリリース、9月のスイスフラン関連の最高スワップ付与の新通貨ペアのリリース、年間を通じた顧客還元を強化した大型キャンペーンの実施などの成果により、**過去最高の210億円の預り資産増加を達成、年間増加額は3年連続で業界トップ**

### 預り資産増減推移



※外為どっとコム社の預り資産は2025年6月28日に行われたマネーパートナーズ社とのサービス統合に伴う移管分が含まれております。  
なお、当該M&Aによる増加分は年間純増額の順位には含めておりません。

### 預り資産増減表 (2025年4月～2026年3月)



出典: FXに関する月次預り資産をウェブサイト又は開示書類で公表している企業より掲載しております。

## 当社グループの競争優位性

これまで当社グループは、商品力およびシステム開発力を基盤に新たな価値を創出してきました。今後はこれらの強みをさらに進化させるとともに、プロダクト創出力および知財戦略という新たな力を確立し、さらなる競争優位と新たな価値提供を実現してまいります。



- 業界最高水準のスプレッド・スワップが生み出す、強い競争力



**商品力**

みんなのFX  
LIGHTFX

**プロダクト創出力**

**Create the New Values**

Traders

金融を、もっと面白く。

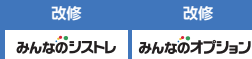
**新領域**

**開発力**

FlGrowth

- Cost
- Quality
- Speed
- Know-how

**知財戦略**



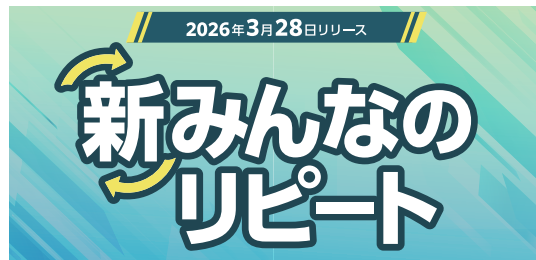
- 20年以上のFX専門知見に裏打ちされた圧倒的な問題解決力
- 市場変化に即応する圧倒的な開発スピード
- グループシナジーによる低コスト運営を実現

- 知財で超過収益力を防衛
- 独自性の確立と競争優位の強化
- 収益機会の最大化

## 今後の施策

# みんなのシストレ

- 売買シグナルの配信システムをMT (MetaTrader) 4から**MT5**へ載せ替え完了
- 2027年3月期は人気のリピート系注文を強化  
3月に導入した「**新みんなのリピート**」(特許出願済み)は従来にない独自のロジックでサービスを提供

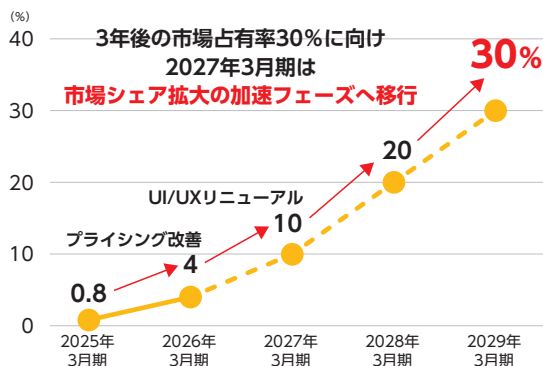


システムの準備が整った2027年3月期はシストレ預り資産拡大フェーズへの転換点とする！

# みんなのオプション

- 2026年3月期にまずプライシングを改善し、市場シェアは**0.8%から4%まで上昇**
- 2027年3月期にはUI/UXを業界トップクラスのデザインと優れたユーザビリティへリニューアル
- 他社平均水準を上回るペイアウト率で攻勢をかけ、競争力強化  
**3年後の市場占有率30%を目指す**

## バイナリーオプション市場占有率



※同業他社平均ペイアウト率は一般社団法人金融先物取引業協会による公表情報より計算

## 知財戦略

2025年3月期

特許出願体制の戦略的構築

2026年3月期

特許量産体制の構築  
体制構築による成果

2027年3月期

**知財戦略の  
実用化および高度化  
を目指す**

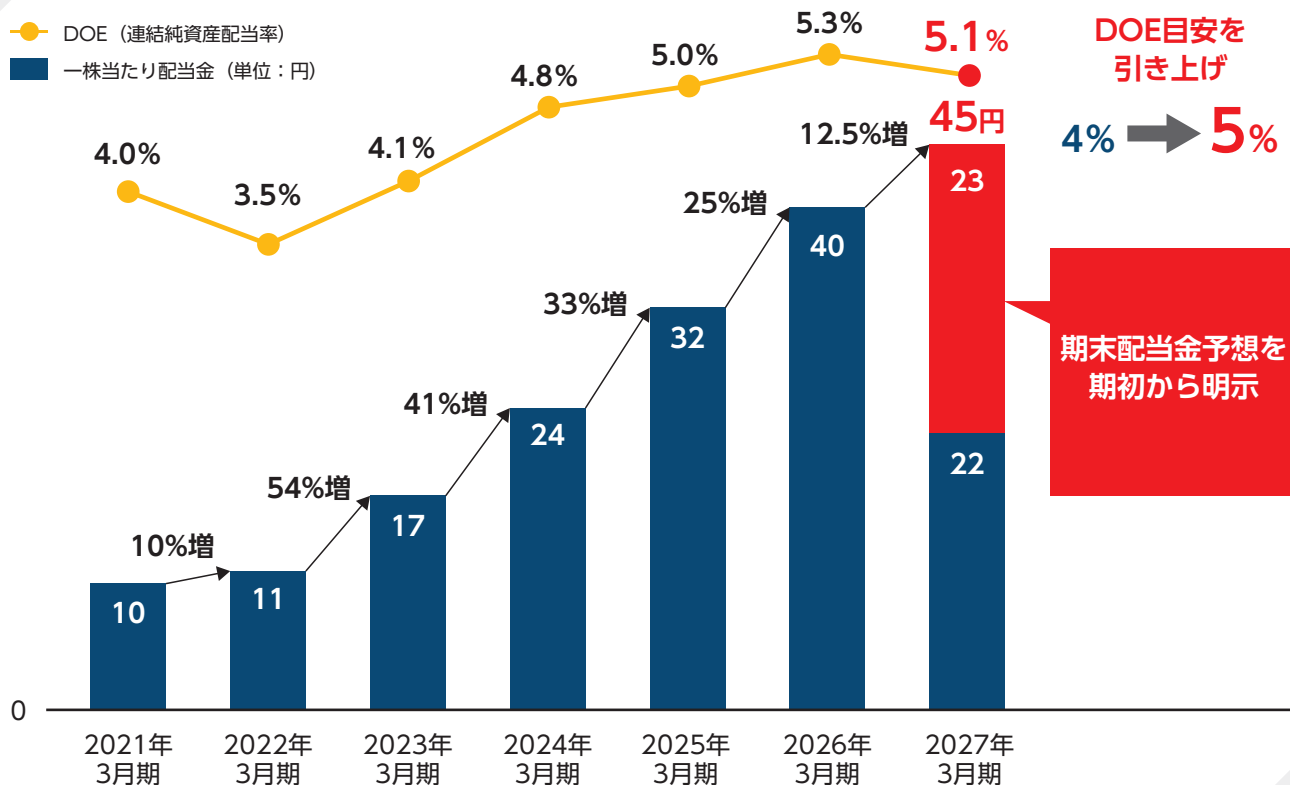
# 株主還元方針および実績

## 還元方針

- **今回から決算短信において期末の配当予想を公表**  
(2027年3月期配当金予想を公表)
- **配当還元方針を、連結純資産配当率 (DOE) 4%目安→5%目安に引き上げ**

## 配当予想

- **中間配当金22円・期末配当金23円と年間45円を予定**
- **配当開始以降、6期連続で増配を予定**  
安定的な配当および機動的な自社株買いを実施





## ● 足立区より依頼を頂き、生涯学習センターにて金融経済教育を実施

これまで継続して実施してきた金融経済教育活動が評価され、足立区より依頼を受け、同区主催の金融経済教育イベントに参加しました。中高生と保護者向けに「人生100年時代におけるお金の向き合い方」をテーマとした出張授業を実施し、外国為替ディーラーが金融リテラシーや投資の基礎を解説。親子で学ぶグループワークも行い、地域社会と連携した次世代支援に取り組みました。



## ● 金融経済教育活動に関して渋谷区「My探究サイト」で当社の金融経済教育の取り組みを紹介いただく

こうした取り組みが評価され、渋谷区の探究学習プラットフォーム「My探求」に当社の活動内容が掲載されました。今後も次世代に向けた金融リテラシー向上と地域社会への貢献に取り組みでまいります。是非ご参照ください。



<https://my.tankyu-shibuya.com/special/011>

## 出張授業プログラムを高校・大学にも展開 金融経済教育の裾野をさらに拡大



### 大学での出張授業

#### 学習院大学



#### 明治学院大学



今期は、高校・大学への金融経済教育活動も拡大しました。高校では「資産形成」をテーマとした出張授業を実施したほか、大学では明治学院大学および学習院大学において初めて講義を実施しました。小中高校から大学まで幅広い世代に向けて金融リテラシー向上に取り組み、次世代の健全な資産形成や金融知識の普及に努めております。

## 高校での出張授業

### 中央大学附属中学校・高校



### 生徒の皆さんからのコメント

参加者からは、「投資や貯蓄が自分にとって身近なテーマだと感じた」「学校では学べない実践的な内容で将来に役立つと思った」「中高生にも分かりやすく説明してもらえ理解が深まった」「積立投資の大切さを学び、早く始めたいと思った」「親子で会話をしながら学べる貴重な機会だった」「投資には企業を応援するという側面があることを知った」など、多くの前向きな声が寄せられました。金融や経済を自分自身の将来や社会との関わりの中で考えるきっかけとなり、金融リテラシー教育の重要性を改めて実感する機会となりました。

当社グループのサステナビリティについて  
より詳細に記載しております。  
ぜひご参照ください。

<https://www.tradershd.com/sustainability/>





2025年7月より  
ロバート秋山さんを  
CMに起用

## 会社概要 (2026年6月24日現在)

会社名	トレーダーズホールディングス株式会社
英訳名	TRADERS HOLDINGS CO.,LTD.
所在地	〒150-6028 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー28階
設立年月日	1999年11月5日
代表者名	代表取締役会長兼社長 金丸 貴行
従業員数	連結285名 単体18名 (2026年3月31日現在)
資本金	15億64百万円
主な子会社	トレーダーズ証券株式会社 株式会社FleGrowth
会社URL	<a href="https://www.tradershd.com/">https://www.tradershd.com/</a>

## 株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数	42,000,000株
発行済株式の総数	29,538,647株
株主数	10,140名

## 役員の状況 (2026年6月24日現在)

代表取締役会長兼社長	金丸 貴行
代表取締役副社長	金丸 武嗣
常務取締役	新妻 正幸
社外取締役	市川 正史
社外取締役	川畑 大輔
社外取締役	山川 敦子
取締役 常勤監査等委員	小俣 真一
社外取締役 監査等委員	菅川 洋
社外取締役 監査等委員	浅枝 謙太

## 単元未満株式の買取り・買増しについて

### 【ご注意】

当社の最低売買単位 (1単元) は100株であり、単元未満株式 (1~99株) については、証券市場で売買をすることはできません。

単元未満株式をご所有の株主様は、当社に対し、市場価格で、

- ・単元未満株式をご売却 (買取制度) または
- ・単元未満株式につき、単元 (100株) にするために必要な株数を当社からご購入 (買増制度) いただくことが可能です。

### 【買取制度】

(例) 65株をご所有の株主様の場合

→ 当社が、65株を市場価格で買い取らせていただきます。

### 【買増制度】

(例) 65株をご所有の株主様の場合

→ 35株 (ご所有の65株を100株にするために必要な株数) を、当社から市場価格でご購入いただけます。

### 【本件のお問い合わせ先】

〈証券会社に口座をお持ちの株主様〉

株主様の口座のある証券会社

〈特別口座に口座をお持ちの株主様〉

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711 (東京)

0120-094-777 (大阪)

お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

特別口座に記録されている単元未満株式につき買取・買増請求をされる場合は、手数料は無料となります。

UD  
FONT  
見やすく読みまちがえ  
にくいユニバーサル  
デザインフォント  
を採用しています。

